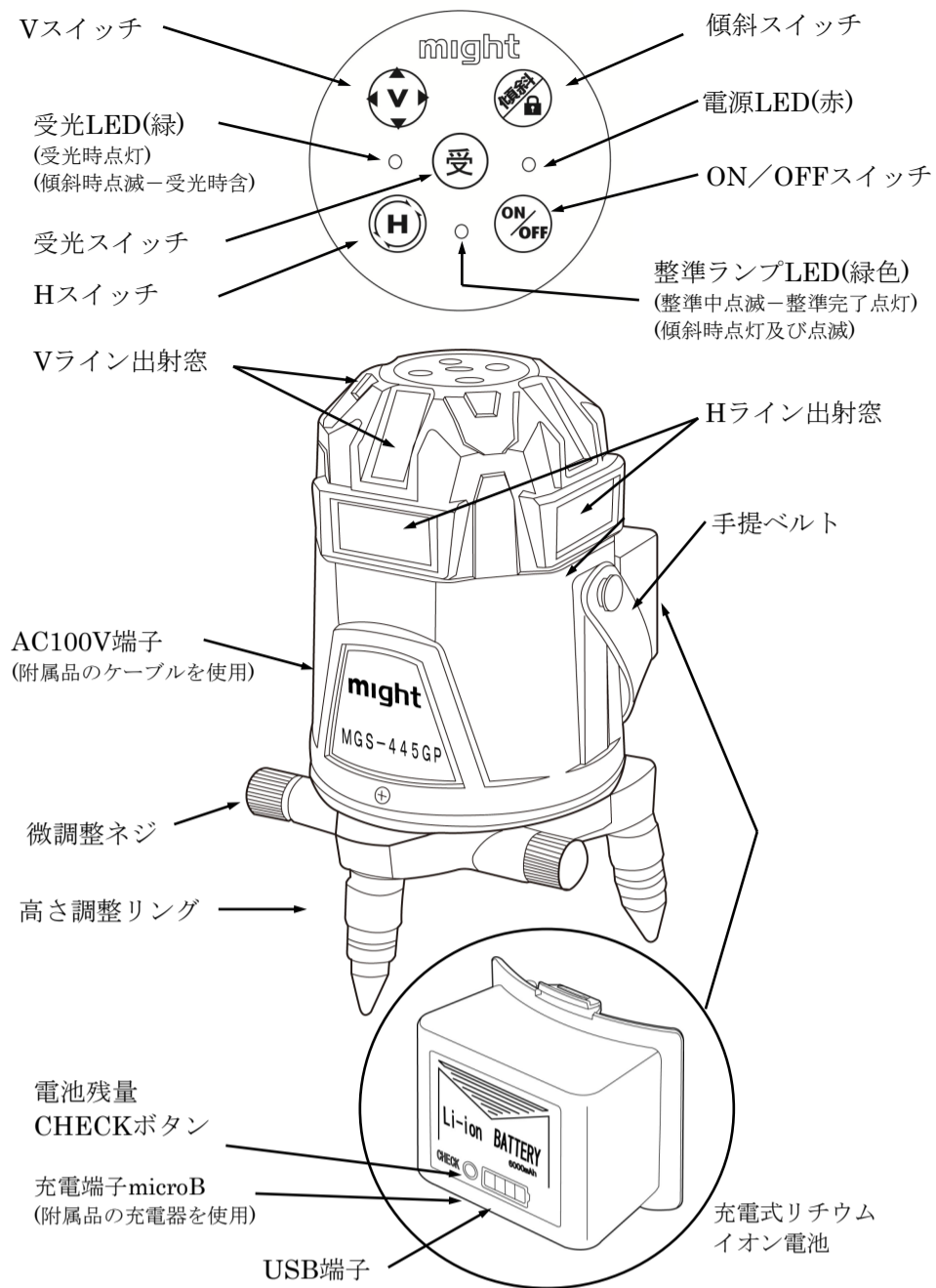




# 本体の使用方式

## 各部名称



**注意** ご使用前には、必ず精度の点検を行い、正しい精度を保持していることを確認してからご使用下さい。

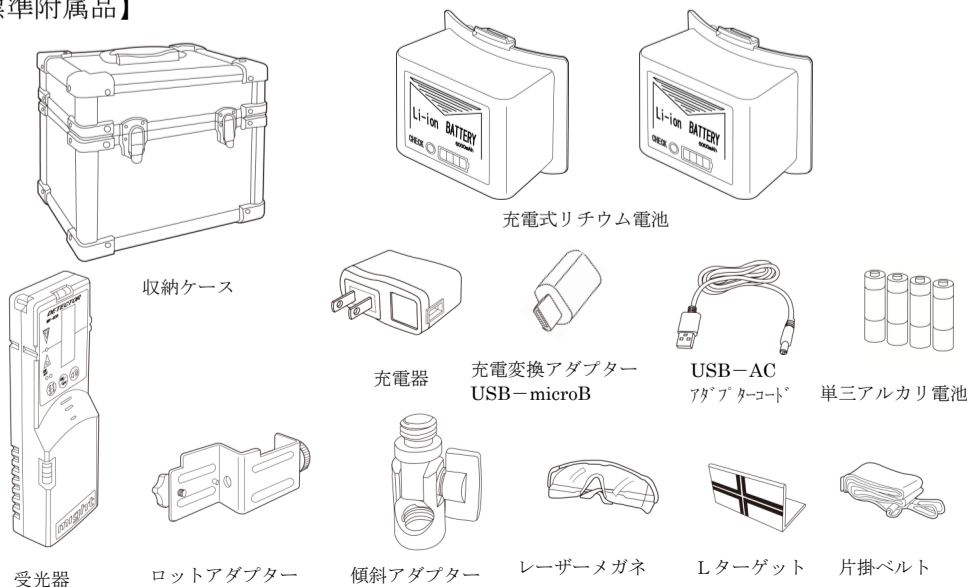
- 本体を振動がなく、できるだけ平らな床面の所に設置します。
  - リチウム電池/乾電池/AC電源を装着し、上部のスイッチ「ON/OFF」を長押ししますと電源がONになり、スイッチ横のLEDが赤色に点灯し水平ラインが半周投影されます。このとき自動的に整準され整準中は緑色LEDが点滅します。整準が完了すると点灯になります。スイッチ横のLEDが赤色に点灯しているにもかかわらずレーザーが点滅しているときは自動補正範囲外です。本体脚の調整リングを回して補正範囲内になるように調整して下さい。
  - 上部のシートスイッチで、任意のラインを選択できます。
    - Hスイッチを押すと電源を入れた状態の半周投影の更に半周が投影され全周投影になり、更に押すと消灯します。これの繰り返しができます。
    - Vスイッチを押すと、水平ラインが投影された状態で、たち墨（通り芯墨）ラインV1が全方向に投影されます。同時に地墨ポイント（赤色）が投影されます。（このときHスイッチを押すと、水平ラインだけが消えます。）もう一度Vスイッチを押すと、V1ライン対し、直角にV2ラインが全方向に点灯します。もう一度Vスイッチを押すと、V1ラインとV2ラインが消灯します。VスイッチもON OFFを繰り返すことができます。（Hスイッチのみのときには、下部光は点灯しません。）
  - 受光器を使用する場合は、「受」のスイッチを押して下さい。緑LEDが点灯します。この時傾斜スイッチを押すと受光器使用可能な状態で緑LEDが点滅になります。
  - 上部シートスイッチの傾斜スイッチは整準をおこなわず傾斜アダプターを使用し本体を傾けて任意の位置にラインを照射して使用します。ライン点灯の状態では傾斜スイッチを押すと正準がOFFになり受光器スイッチの緑LEDが点滅になります。この時受光器スイッチを押すと受光器が使用出来ます（本体を傾斜させると整準ランプが点滅に変わります）
  - 作業終了後は「ON/OFF」スイッチを押すと自動的にロックされて消灯します。
    - ※Vスイッチ：縦墨
      - 全方向鉛直ラインを使用して、たち墨（通り芯墨）が出せます。
      - 2つの全方向鉛直ラインを使用して一度に大矩（90°）の墨出し作業ができます。
      - 2つの全方向鉛直ラインの交点が下部光点の鉛直点です。
    - ※Hスイッチ：水平墨（ろく墨）
      - 水平ラインを使用して全周の水平墨（ろく墨）が出せます。
      - 専用エレベーター三脚（別売）を使用すると水平ラインの高さ調整が容易にできます。
- ご注意**
- ※ドットはライン検知の目安です。HとVの交差点上に無くても精度不良では有りません。
- リチウム電池のインジケータランプが1個（点滅）になったら電池容量不足ですリチウム電池を交換して下さい。
  - 電源を入れる際ONボタンは1秒～2秒長押ししてお使い下さい。
  - 充電をしながら点灯はしますが、充電は出来ません。（充電を行いながらのご使用はお止め下さい。発火等の恐れがあります）
  - 長期間使用しないときは必ず充電式リチウムイオン電池、及びアルカリ電池を外して保管して下さい。（液漏れして故障の原因になります。）
  - リチウム電池を本体に取り付けても電源が入らない場合はCHECKボタンを押してお使い下さい。

## 仕様

型式	MGS-445GP
光源	緑色半導体レーザー
出力	2.5mW以下
波長	520nm（グリーンレーザー）
下部光	650nm（赤色レーザー）
指示方式	センサーによる自動整準方式
指示精度	±1.0mm/10m
ライン幅	10mで約3.5mm以下
自動補正範囲	±約3.0°
回転機構	360°回転・微調整機構付き
作業使用温度	-5℃～40℃
電源	充電式リチウムイオン電池/単三アルカリ電池/AC100V
連続使用時間	リチウム電池：全灯連続約3時間（使用条件で異なります） アルカリ電池：全灯連続約10～20分（使用条件で異なります） 充電時間：満充電約7時間 （充電中LEDインジケータ点滅、充電完了時青LED点灯）
受光器探知距離	水平：約3～25m 縦：約3～15m（床置き）
寸法	H202mm×W140mm（突起物を含む）
本体質量	約1.2kg（充電式リチウムイオン電池を含まず）

※データは24℃での数値です。  
※使用距離は、受光器の性能・環境により違いがあります。

### 【標準付属品】



## 精度の点検・確認方法

本製品を使用する前に必ずご確認下さい。

### 1. 鉛直精度の点検・確認方法

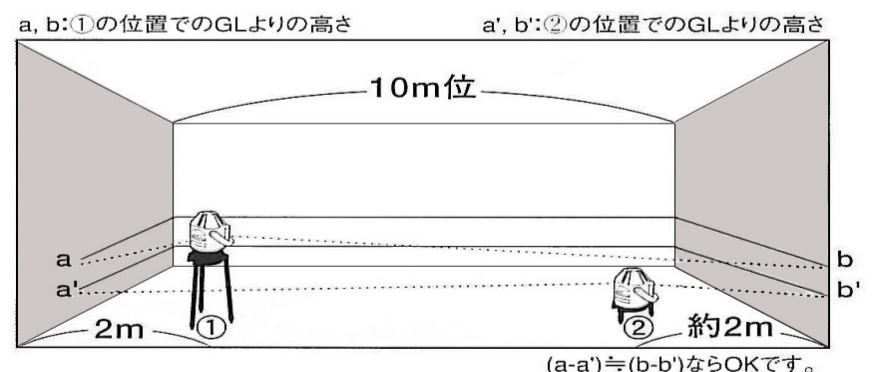
- 天井の高さが2～3mで、振動がなく壁面から2～5m離れた床に本機を設置します。また、壁面には「下げ振り」を下ろしておきます。
- たち墨ラインのスイッチを入れ、本機を回転させて下げ振りの糸にレーザーラインを乗せます。（微調整ネジを使用すると下げ振りの糸に乗せやすくなります。）この時、レーザーラインが下げ振りの上・中・下で糸の上にあることを確認して下さい。（糸の中心から±1mmの範囲内にあれば保証精度範囲内です。）

### 2. 水平精度の点検・確認方法

- ※10mくらいの部屋で、振動のない場所を選んで下さい。
- 下図のように、距離と高さを変えて二度、本機にて水平位置をマークします。
  - a-a'、b-b'の差が等しければ本機は正常です。（その差が±1mmの範囲内にあれば保証精度範囲内です。）

■点検・確認して誤差が大きい場合は、お買い上げ店または、弊社営業所にお申し付け下さい。

### 【水平確認方法】



## 免責事項

- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません
- 本製品の精度確認を怠った事によって生じた付随的な損害(事業の利益の損失・事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災・地震・第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。